

令和7年度北薩地区フレッシュ研修（初任校研修） 他校種参観Ⅰ

令和7年7月4日（金）

1 目 的	特別支援学校の授業や諸教育活動の参観及び指導講話等を通して、特別支援教育への理解を深めるとともに、特別な支援を必要とする児童生徒への指導力の向上を図る。
2 会 場	県立出水特別支援学校
3 出席者	北薩地区フレッシュ研修（初任校研修）受講者
4 内 容	(1) 授業参観及び施設参観 (2) 校長講話「学校の概要説明及び特別支援教育について」 (3) 協議 ア グループ協議 イ 発表・共有 ウ 指導助言 エ 振り返り

5 様 子



授業参観及び施設参観の様子



校長講話の様子



協議の様子



初任者代表お礼の言葉

<振り返り>

- 児童生徒の行動の背景にある生活環境や経験を丁寧に把握することが必要であると学んだ。表面的な様子だけで判断せず、その子の立場に立って理解し、信頼関係を築きながら支援していく姿勢が求められる。今後は日々の関わりを通して、より適切な支援の方法を見つけ、工夫していきたい。
- 学習に不安を抱える生徒への対応については、「わかる・できる」実感をもたせるために、教材や説明の工夫、肯定的な関わりが大切であることを学んだ。